

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 5 年 7 月 6 日(2023.7.6)

【公開番号】特開 2022-190076(P2022-190076A)
 【公開日】令和 4 年 12 月 22 日(2022.12.22)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-236
 【出願番号】特願 2022-176304(P2022-176304)
 【国際特許分類】
 A 6 3 F 7/02(2006.01)
 【F I】
 A 6 3 F 7/02 3 2 6 A

10

【手続補正書】
 【提出日】令和 5 年 6 月 28 日(2023.6.28)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

20

所定枠を有する取付対象と、その取付対象に対して開閉可能に配設される配設部と、を備えた遊技機において、
前記配設部に挿通される軸部材と、
その軸部材を中心に前記配設部に対して相対回動可能な被係合部材と、
その被係合部材に連結され前記取付対象に配設される係合体と、を少なくとも備え、
前記係合体は、
前記被係合部材に対向配置される対向面と、
その対向面に対して交差する方向へ変位可能に構成され前記対向面から前記被係合部材側
へ向けて突出する突出部材とを備え、
前記被係合部材は、
前記突出部材を受け入れ可能に形成される受入部を備え、
前記係合体は、前記突出部材が前記受入部に受け入れられた所定状態で、前記突出部材が
前記対向面に対して前記被係合部材の反対側へ変位することを防止可能に構成される防止
部材を備え、
前記受入部は、貫通形成されることを特徴とする遊技機。

30

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 2
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 2】

40

遊技機において、所定枠を有する取付対象を備える遊技機がある(特許文献 1)。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 4】

50

しかしながら、上述した従来の遊技機では、所定枠を有する取付対象に対して行われる作業を好適とする観点で改善の余地があるという問題点があった。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記例示した問題点等为解决するためになされたものであり、所定枠を有する取付対象に対して行われる作業を好適とすることができる遊技機を提供することを目的としている。

10

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、所定枠を有する取付対象と、その取付対象に対して開閉可能に配設される配設部と、を備えた遊技機であって、前記配設部に挿通される軸部材と、その軸部材を中心に前記配設部に対して相対回動可能な被係合部材と、その被係合部材に連結され前記取付対象に配設される係合体と、を少なくとも備え、前記係合体は、前記被係合部材に対向配置される対向面と、その対向面に対して交差する方向へ変位可能に構成され前記対向面から前記被係合部材側へ向けて突出する突出部材とを備え、前記被係合部材は、前記突出部材を受け入れ可能に形成される受入部を備え、前記係合体は、前記突出部材が前記受入部に受け入れられた所定状態で、前記突出部材が前記対向面に対して前記被係合部材の反対側へ変位することを防止可能に構成される防止部材を備え、前記受入部は、貫通形成される。

20

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明によれば、所定枠を有する取付対象に対して行われる作業を好適とすることができる。

30

40

50